

平成25年3月期

第2四半期 決算説明会資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 三原 寛司

© 2012 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Ubiquitous

Agenda

- 第2四半期業績の概要
 - 経営成績、財政状況
- 通期業績の修正について
- 製品分野別動向

業績の概要

第2四半期の概況

ネットワーク関連で売上高が予想より低調に推移

- 第1四半期よりは回復傾向にあるものの期首予想より低調
- 営業損失57百万円、純損失99百万円
- ネットワーク分野中心に受託開発の売上が低調
- 通期業績予想を下方修正し、繰延税金資産取崩し

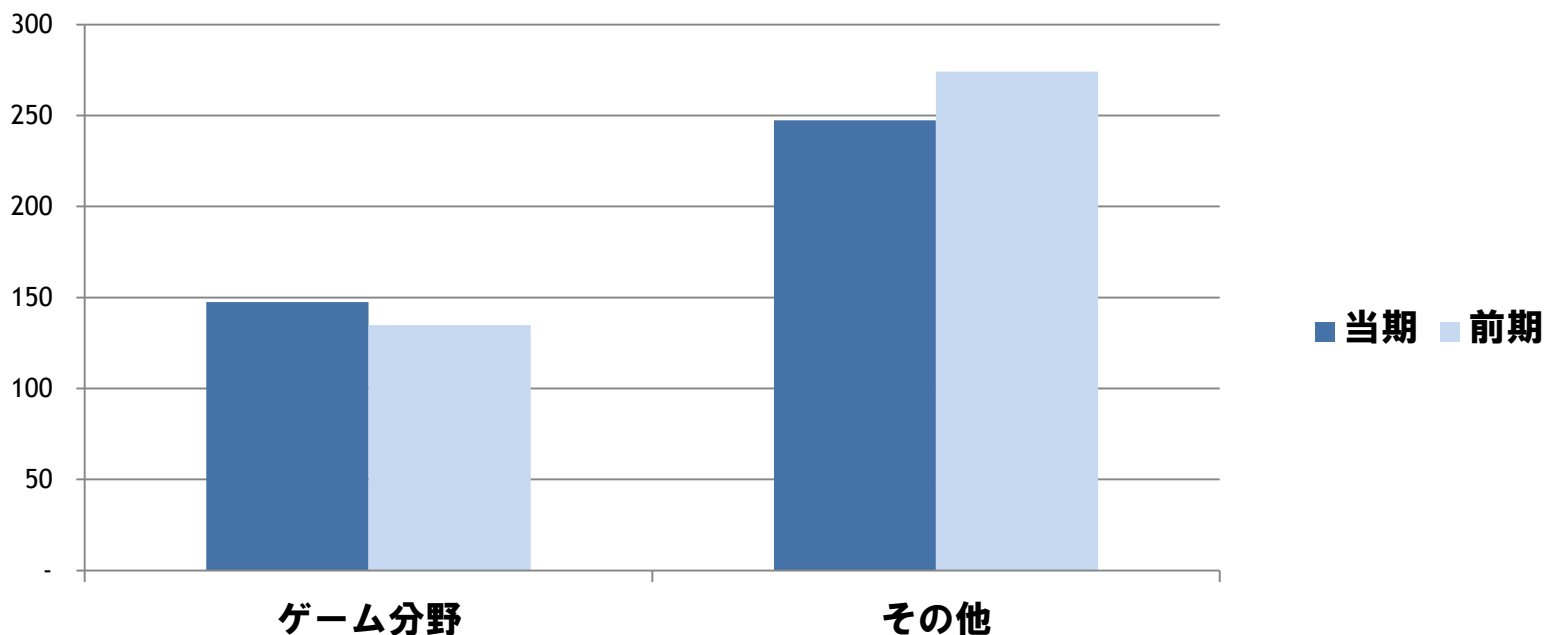
分野別概況

- ネットワーク関連：
 - ・ゲーム分野：大型タイトルの海外向け販売が寄与
 - ・ネットワーク分野：受託開発売上が低調
- データベース関連：
 - ・今後の収益に減速懸念
- 高速起動関連
 - ・車載向け新規大型案件の量産搭載に目処、下期に収益獲得予定

第2四半期業績の概要

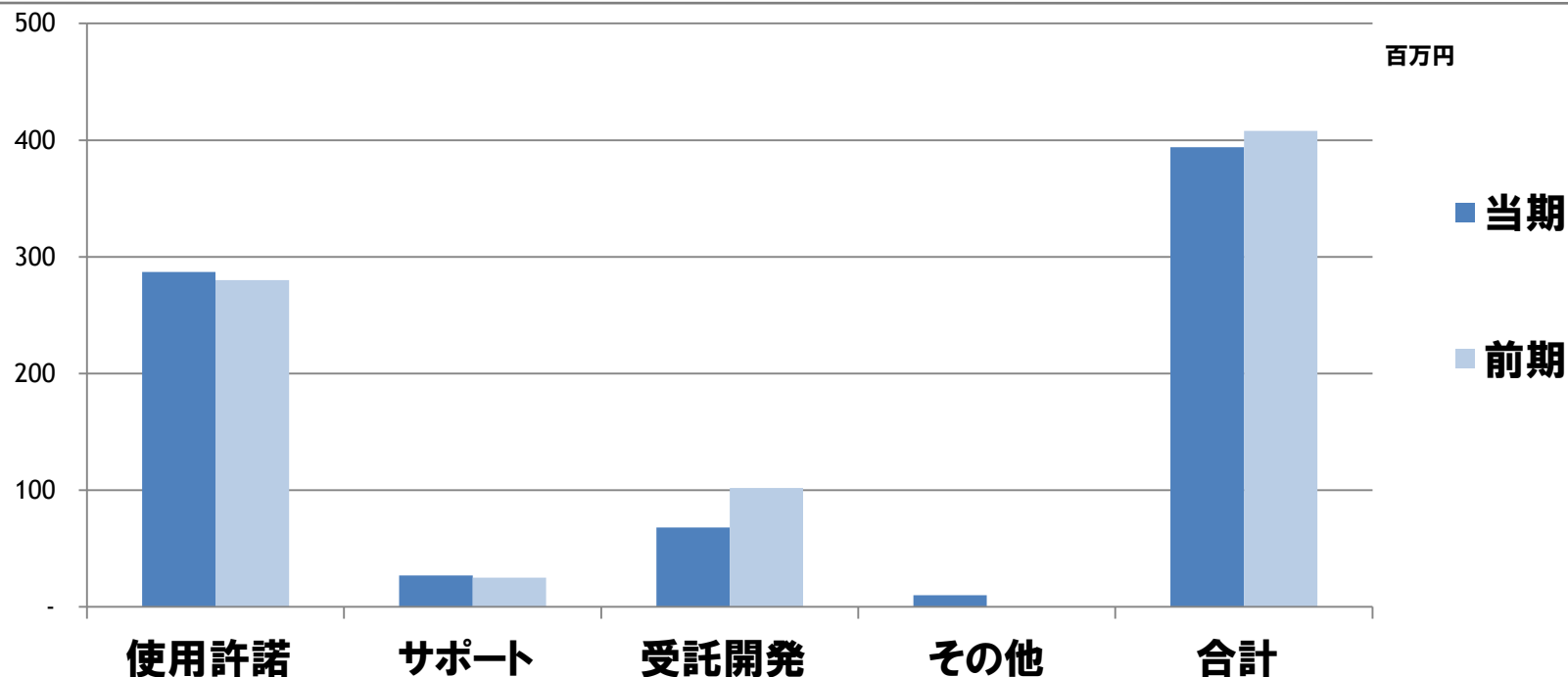
	前年同期 (百万円)	H25年3月期 第2四半期実績 (百万円)	前年同期比
売上高	408	394	△ 3.4%
営業利益	48	△57	—
経常利益	50	△49	—
純利益	27	△99	—
一株純利益 (円)	321.43	△1,162.50	—

ゲーム分野とその他 売上高対比



単位(百万円)	H25年3月期 第2四半期	構成比	増減	前年同期	構成比
ゲーム分野	147	37.4%	9.5 %	134	33.0%
その他	247	62.6%	△9.8%	274	67.0%

形態別売上高の内訳（前年同期比）



	当四半期	構成比(%)	前年同期	構成比(%)	増減額
使用許諾	287	72.9	280	68.5	7
サポート	27	7.1	25	6.3	2
受託開発	68	17.3	102	25.1	△34
その他	10	2.8	—	—	10
合計	394	100.0	408	100.0	△14

貸借対照表（資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成24年9月30日 （当四半期末）	平成24年3月31日 （前期末）	増減額
流動資産	1,446	1,600	△153
現金及び預金	759	972	△212
売掛金	251	198	53
その他	435	430	5
固定資産	727	718	9
資産合計	2,174	2,319	△144

貸借対照表（負債・純資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成24年9月30日 （当四半期末）	平成24年3月31日 （前期末）	増減額
負債合計	126	176	△50
流動負債	93	152	△58
固定負債	33	24	8
純資産合計	2,048	2,142	△94
資本金	566	566	—
資本準備金	536	536	—
利益剰余金	1,065	1,164	△99
負債純資産合計	2,174	2,319	△144

通期業績予想の 修正について

通期業績予想の修正 (H25.3月期)

	前回予想(A) (百万円)	今回修正(B) (百万円)	増減額(B-A)
売 上 高	1,000	900	△100
営 業 利 益	100	△55	△155
経 常 利 益	100	△46	△146
純 利 益	60	△97	△157
一株純利益(円)	704.07	△1,138.24	

業績予想修正の要因

■ ネットワーク関連の売上高減少

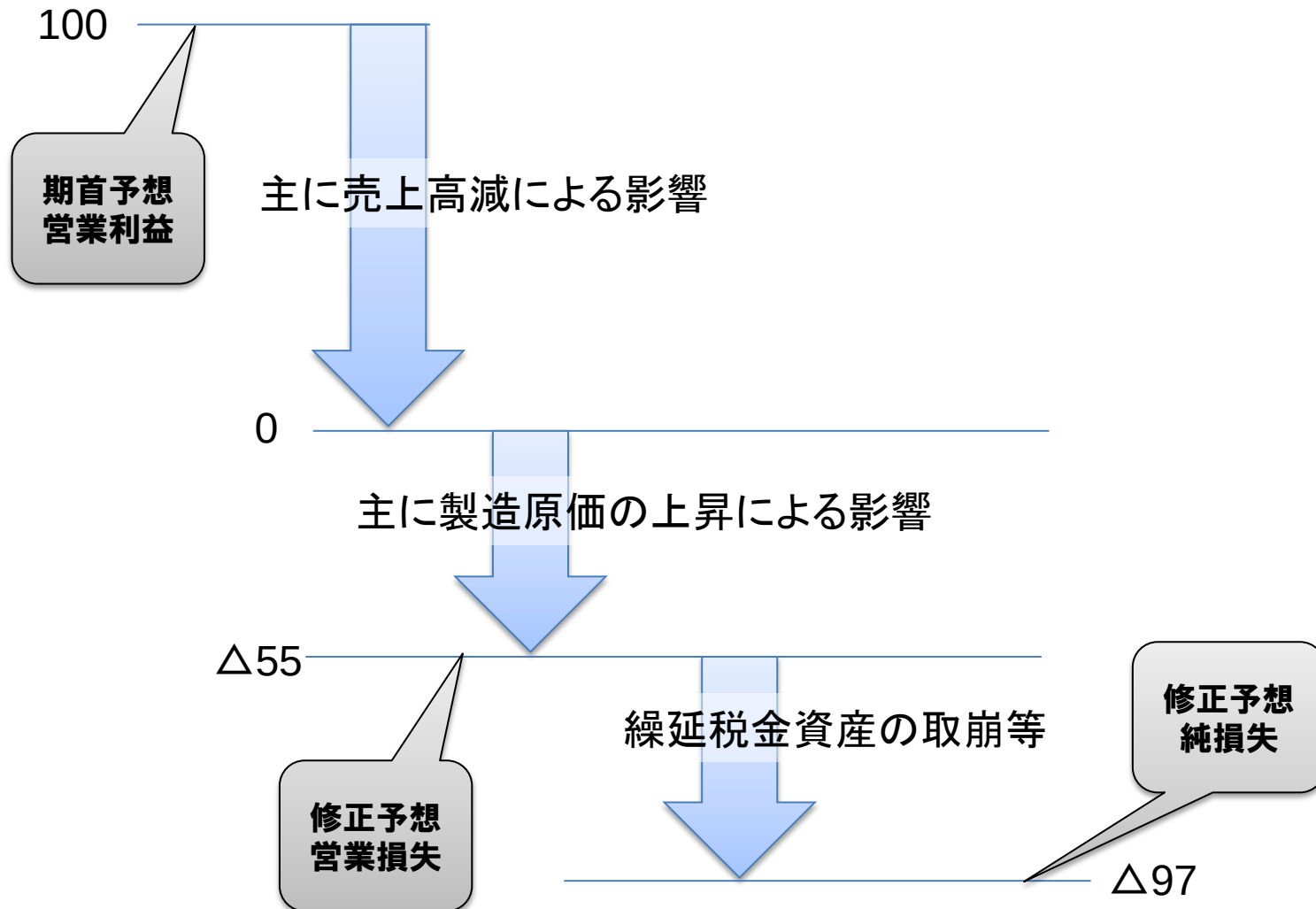
- 特にデジタルテレビ関連のロイヤルティ収益と新規受託開発が予想を下回る見込み
- 製造原価が当初予想を上回る

■ 繰延税金資産の取り崩し

- 通期業績予想の見直しにより、繰延税金資産40百万円を取り崩し

利益変動要因分析

単位：百万円



修正通期業績予想に対する進捗

	第2四半期実績 (百万円)	修正当期業績 予想(百万円)	進捗率(%)
売上高	394	900	43.9
営業利益	△57	△55	—
経常利益	△49	△46	—
四半期 純利益	△99	△97	—

形態別売上高予想の修正

単位：百万円

	修正前	修正後	増減額
使用許諾	580	600	20
サポート	60	50	△10
受託開発	360	240	△120
その他	—	10	10
合計	1,000	900	△100

- 国内エレクトロニクス業界不振の影響などを受け、受託開発売上減少
- 使用許諾（ロイヤルティなど）売上については堅調

注意：「その他」：サービスプラットフォーム事業関連の製品売上

分野別売上高予想の修正および実績

	修正前	修正後	増減額	2Q実績	達成率(%)
ゲーム	150	190	40	147	77.7
ネットワーク	470	390	△80	149	38.4
データベース	180	120	△60	66	55.1
高速起動	150	180	30	20	11.3
サービスプラットフォーム	50	20	△30	10	54.5
合計	1,000	900	△100	394	43.9

単位：百万円

- ネットワーク関連のテレビ向けロイヤルティ、新規受託開発が落ち込む
- 高速起動関連で大型案件でのロイヤルティ獲得を予定

製品分野別動向 と取り組み

- 携帯ゲーム機向け大型タイトルの海外向け販売による寄与あり
 - 期首予想を上回る

- 今後に向けて
 - 期首予想を超えるのは确实のため上方修正
 - 今後の売上高は減速を見込む

■ デジタル家電関連

- デジタルテレビ向けのロイヤルティ収益が想定を大きく下回る
- 年末モデル向けの受託およびロイヤルティ売上計上

■ 無線ネットワーク関連

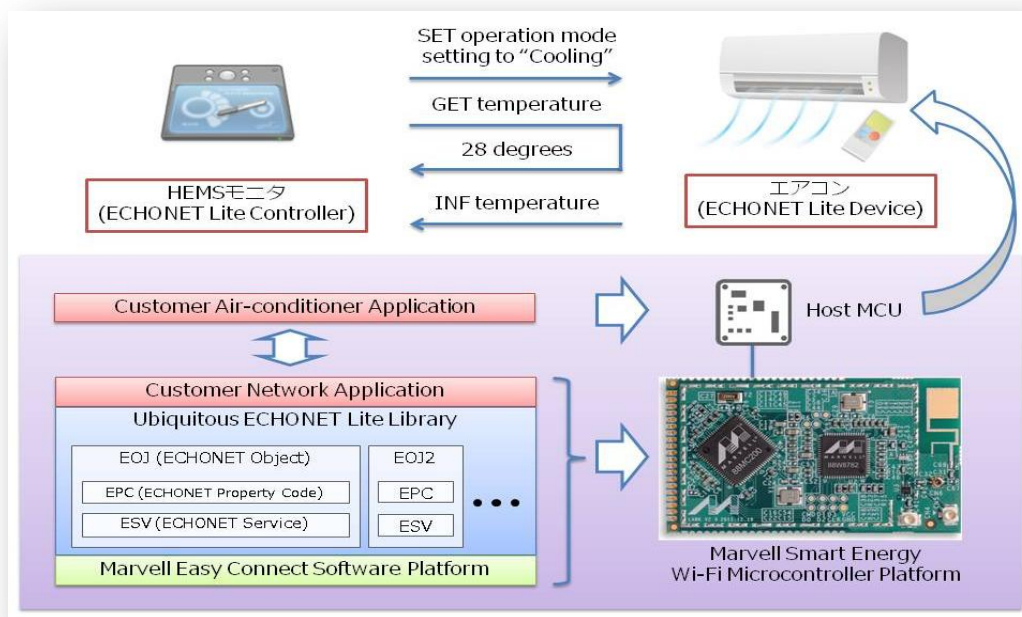
- デジタルカメラのネットワーク対応など商談は活発
- 開発案件の数はあるものの案件あたりの売上規模は小さい

■ 今後に向けて

- デジタル家電関連は次世代機向けの開発に着手
- 無線関連の案件対応力強化
- HEMS向け標準プロトコル”ECHONET Lite”の開発

ECHONET Lite 対応について

- “ECHONET Lite”
 - 国内HEMS向け標準プロトコル
 - 従来のECHONETの規格を改変・軽量化し、2011年に規格化された、新しい標準技術
- 省メモリ(10KBのメモリサイズ)での実装
- GainSpan社、Marvell社プラットフォームへ対応



- 上半期は堅調であるものの、今後の減速懸念
 - デジカメなどロイヤルティ収益が減速傾向
 - 新規顧客開拓が引き続き低調

- 採用機種拡大
 - パイオニア DJシステム
XDJ-AERO



- 今後に向けて
 - 日立ソリューションズとの提携による市場拡大を模索
(2012.11.13 報道発表)

日立ソリューションズへの技術供与

■ 超高速・極小データベース技術の供与

– 日立ソリューションズの組込みデータベースの
ラインアップ強化に向けて

- 従来未対応のセンサー機器・小型の情報端末などへの
「小さく、軽く、速い」データベースのニーズへ対応

– マーケットの拡大を狙う

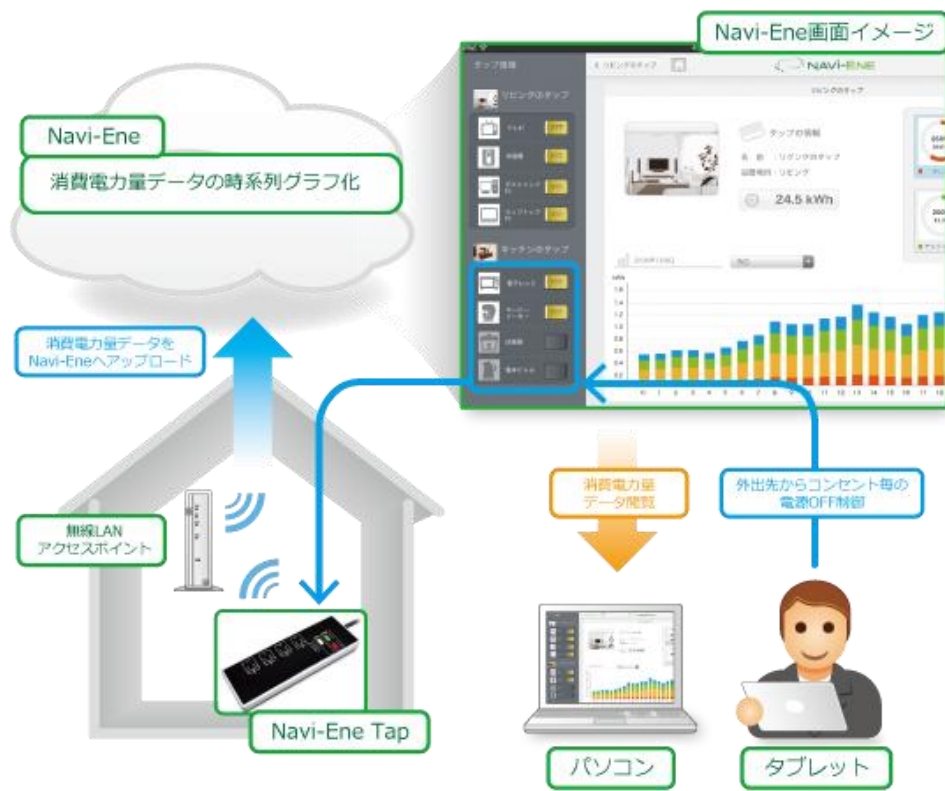
- スマートエネルギー
- M2M (Machine-to-Machine)

- 車載機器で新規大型案件での量産化目処がたつ
 - 今期下半期から量産ロイヤルティ獲得予定
 - これにより期首予想売上を上回る見込み
 - OSにLinuxを採用したカーナビ増加が追い風に
 - 複数案件で車載機器への搭載準備進む
- パイオニア DJシステム：DBに加えQuickBootも採用
- 今後に向けて
 - 対応CPUプラットフォームの拡大
 - 採用拡大に向けてマーケティングキャンペーン実施中
 - パートナー協業の強化

サービスプラットフォーム事業

- 2012年9月に電力見える化サービス”Navi-Ene”開始
 - サンワサプライ(株)よりNavi-Ene Tap発売

- 今後に向けて
 - スマートソリューション事業部の新設
 - B2B向けに展開





Ubiquitous

株式会社ユビキタス Ubiquitous Corporation

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 20F TEL:03-5908-3451 FAX:03-5908-3452